

創立三十周年記念誌

大阪府立柏原東高等学校

Kashiwarahigashi High School

30

th Anniversary



春





夏



秋

冬



校旗



教育目標

明るく、生き生きとした学校生活を通して、真理と平和を愛し、勤労と責任を重んじる、身心共に健全な、社会の有為な形成者を育成する。

三つのモットー

- 一 自ら品位を高めよう
- 二 困難にうち克つことに喜びを見つけよう
- 三 進んで公共に奉仕しよう

校章



校歌

一 我ら今ここに集う
限りなく息吹く大地に
新しき力は燃えて
ともに開かん未来の礎
信貴生駒山並のぞむこの岡辺
我ら今ここに生きる
我らが高校柏原東

二 我ら今ここに学ぶ
豊かなる歴史を継いだ
美しき心は燃えて
ともに歩まん真理の道を
大和川さざ波光るこの岡辺
我ら今ここに育つ
我らが高校柏原東

作詞 田中 喜一
作曲 近藤 啓

C O N T E N T S

目 次

学校の四季	2
校旗・校章・校歌・教育目標・三つのモットー	6
挨拶・祝辞	8
30年の足跡	
1976-1986	12
1987-1996	14
1997-2006	16
21期生～30期生	18
本校周辺の歴史的環境	38
修学旅行	
24期生～29期生	40
現在の柏原東	
体育祭	46
サマーキャンプ	47
クラブ活動	48
クラブ戦績	53
大和川に学ぶ	54
理科クラブの取り組み	56
公開講座の実施	59
資料	
P T A 活動	60
教務部	63
進路指導部	64
生徒指導部	66
保健部	68
創立30周年記念事業実行委員会名簿	70
編集後記	71



30周年に寄せて

校長 二敷 寛治

昭和52年、柏原市唯一の公立高校として高井田の地に開校して以来、柏原東高校で学び、汗を流し、時には涙しながら青春を謳歌した多くの生徒たちの思い出を刻んで、30年の節目の年を迎えますことは大きな喜びであります。これもひとえに創立以来、本校教育の充実発展のためにご尽力をいただきました歴代校長先生をはじめ教職員の皆様、またご支援ご協力を賜りました大阪府教育委員会や関係機関、同窓会、柏東河嵐会、PTAや地域の皆様方のおかげと心から感謝いたしますとともにお礼申し上げます。

「我ら今ここに生きる 我らが高校柏原東」

校門を入ってすぐ右手に建てられた第一期生の卒業記念碑にこう刻まれています。校歌の一節の文言ですが、多くの人達が本当にそう実感して卒業していったのではないのでしょうか。体育祭や文化祭、また修学旅行やクラブ活動などの楽しかったこと、あの学校直前の急な坂を登った通学さえ良い思い出になると綴った、一期生からの卒業記念文集に目を通して、そんな思いを強くしました。しかしまた同時に、残念ながら卒業の日を迎えることなく学校を去っていった人達が数多くいたことも忘れることが出来ません。

このような30年の歴史を振り返り、本校の現状を再認識するとともに、本校の教育活動に携わってこられた諸先輩の労に報いるためにも、30周年は単なる通過点ではなく、今後の発展の契機としなければなりません。生徒一人ひとりと真摯に向き合い、時間をかけた丁寧な学習指導・進路指導をモットーに、また充実した学校行事を通して人との交わりを大切にする学校という教育方針を堅持しつつ、地域との連携を重視した開かれた学校づくりを進め、一人でも多くの有為の青年を世に送り出す学校を目指したいと思っております。

現代は変革の時代であり、混迷の時代であり、国際競争の時代であるといわれています。それを具体化するかのように、平成19年度から学区の再編が行われ、現在の9学区制が4学区制に移行いたします。本校にとりまして、新しい試練が待ち受けておりますが、教職員一同一致団結してより良い柏原東高校を目指して努力する所存です。皆様方の今後なお一層の支援ご協力をお願いいたします。



創立30周年を迎えて

PTA会長 至田 正義

大阪府立柏原東高等学校創立30周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

思えば、柏原市で初めて開校された府立高校。この少子化時代に伴い統合する学校が増す中、柏原東高等学校が30周年を迎えることができた事は、生徒ひとりひとりのためまぬ努力と、卒業されていった皆様、並びに、諸先生方、保護者の皆様方の学校に対する教育方針、深い思いで築いてこられた伝統と歴史に敬服致します。

この節目のすばらしい歴史を刻んでこられたこの時に会長としてPTA活動の先頭に立たせて頂く喜びを感じますと共に、築いてこられた伝統と歴史を受け継ぎ、さらなる発展に努め、後に伝えていく責任に身の引き締まる思いで一杯であります。

高等教育について一言！

親がもう一度、高等教育と初等教育の区別をしなければなりません。初等教育のポイントは2つ、知識と人格性です。そして人間形成が重要です。子どもたちは、学校に入学すれば学術的知識を吸収していきますが、人間形成、つまり価値観や信念、善悪などは、どちらかと言えば親から吸収するものと思います。親と学校の相互責任なんだと思います。一番いいのは、親がさまざまな形で学校教育に参加して、知識と人格形成のバランスをとることです。子どもと一緒に対話をし、自分の意見を主張させることが大事です。それが信念、そして人格形成のうえで極めて重要です。子どもの人格形成は、親の責任だとよく認識することで、知識は学校と共同分担ですが、人間形成については親の責任だと思います。保護者が担う役割のコアな部分は人任せにできないということをもっとしっかり認識しなければなりません。現在、おかしな事件が数多く起こっている今日、もう一度、皆様方も考えてみて下さい。

最後になりましたが30周年記念事業にご尽力いただきました多くの方々に深く感謝申し上げます。

子どもたちの未来に夢を託し、40周年、50周年に向け更なる発展をお祈りしつつ、今後とも皆様方の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

PTA行事に、どしどし参加して下さるよう希望しつつ、お祝いの言葉とさせていただきます。



21世紀の旅立ち

創立30周年記念事業実行委員長 山田 光男

大阪府立柏原東高等学校創立30周年おめでとうございます。創立以来幾多の人々に支えられ、歩んできて早30年を迎えられたのもその時々先生方又校長、事務局とPTAの役員の方々、それを陰で見守るOBの皆様のお陰ではないかと思えます。

それに今回休止しておりました同窓会の復活が出来るようになり、新しい会長も又役員も決まり、これから色々活動されると思います。卒業生におかれましても、我が母校の思い出をいつまでも、胸に秘め、友と会えば時のたつのを忘れ、良く学び良く遊んだ日の事を、語る学校が必要と感じることでしょう。時代の流れで少子化が目立ち同じ府立の学校が消えていく、寂しい時代になりました。幸いに柏原東高等学校は今のところどうにか残っていますが、後2・3年たてば、府下の学校のシステムが変わり、どうなるか分からない時でもあり、柏原東高等学校を魅力ある学校に持っていくことが、学校協議会の仕事です。柏原東高等学校にかかわりある、先生・PTA・同窓生・河嵐会・OB会の方々のアイデアやご協力をぜひともお願いします。私は16年、17年とPTA会長をさせていただきましたが、何時も役員の方々の協力があって2年間出来ました。この喜びは私の人生の中で一番と思っております、ありがとうございます。私は、地元で消防団の団長を務めている関係で、昨年、秋の防災訓練を地域近隣の皆様と柏原東の生徒たちとの合同で実行しております。昨年は、テレビ放送で取り上げられ、また今年の訓練は、私が感心するほどまじめに取り組み、地元の皆さんに安心感を持ってもらえるようになりました。

私の信念は、子どもたちを世の中に出て、人の手助けが出来る勇気ある大人に育てることです。言葉や文章では簡単ですがなかなか出来ないのが、自分には厳しく、人には優しくすることではないでしょうか。これが出来れば、争いの無い日々を過ごせるのではないですか。私もまだまだ達成出来ず、勉強中です。

30周年事業に向かったの会議で、卒業生に教えてもらった事もありました。自分の子どもが21世紀の世の中に旅立つ記念の年でもあり、親子ともども忘れられない良い経験をさせていただき、本当にありがとうございました。この事業にかかわられた方々にも、慣れぬことを無理におねがいして申し訳ありません。

最後に校長先生、教頭先生、教職員、事務長、事務職員、PTA役員、河嵐会、OBそして保護者の皆様の変わらぬご健康ご多幸をお祈りし、又同窓会の継続発展も願いまして御礼とお喜びを申し上げます。